

2013 市民大学 公開講座

場所 修文大学
修文大学短期大学部
吉田記念館7階 大講義室

定員 前・後期各100名

受講料
無料

前期テーマ

修文大学

情報を賢くキャッチして 生活に活かす

●午前10:00～11:30

10/9水

情報と感覚1—知覚—

修文大学 准教授 佐々木 政司

10/16水

情報と感覚2—注意—

修文大学 准教授 佐々木 政司

10/23水

壮年期の食生活から考える

—日本人はなぜ糖尿病になりやすいか—

修文大学 教授 福井 富穂

10/30水

壮年期の食生活から考える

—適正体重—

修文大学 教授 福井 富穂

後期テーマ

修文大学短期大学部

暮らしにエッセンスを ～心躍るときを求めて～

●午前10:00～11:30

11/6水

スポーツを観戦しよう!

修文大学短期大学部 教授 加藤 渡

11/13水

かしこく食べて健康に

—生活習慣病の予防・改善のヒント—

修文大学短期大学部 准教授 田中 秀吉

11/20水

バロック・ロココの宮廷音楽

修文大学短期大学部 専任講師 三輪 雅美

11/27水

フランス菓子の文化と楽しみ方

修文大学短期大学部 専任講師 鴨居 由紀子

●対象者／一般成人(一宮周辺在住者)

●締切／前期 9月26日(木)
後期10月24日(木)

●その他／託児を実施

(10月1日(火)現在、1歳6ヶ月以上の幼児)

定員30名抽選(要申込)



修文大学

SHUBUN

修文大学短期大学部



一宮市教育委員会

■申込先／修文大学 教務課 ☎0586-45-2101(代表)

一宮市教育委員会生涯学習課 ☎0586-84-0012(直通)

■主催／修文大学・修文大学短期大学部・一宮市教育委員会

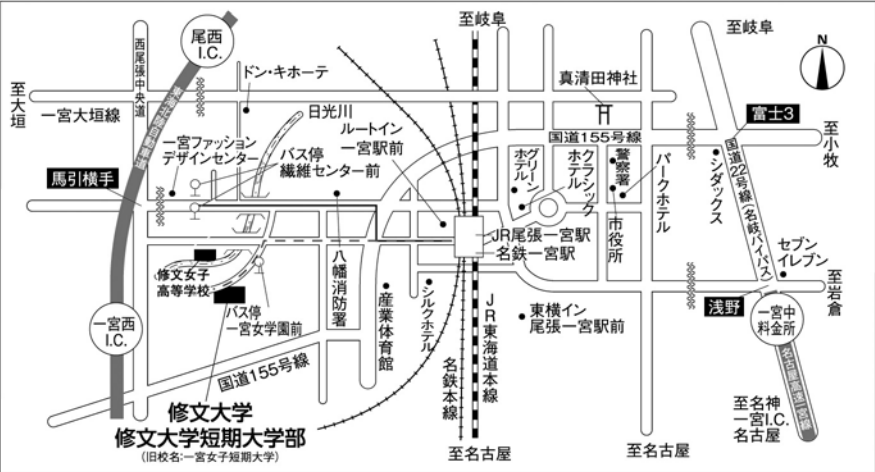


市民大学公開講座 講座内容

前期テーマ **情報を賢くキャッチして生活に活かす** 後期テーマ **暮らしにエッセンスを~心躍るときを求めて~**

期	月日	演題・講師	内 容
前 期	1回 10/9(水)	情報と感覚1 -知覚- 修文大学 准教授 佐々木 政司	感覚器官からの刺激を認知的に処理することを知覚という。我々の周囲の物理的環境と私感覚としての情報を取り入れた知覚的世界には大きな違いがある。本講義では、五感について、特に視覚を中心にして知覚システムを解説する。
	2回 10/16(水)	情報と感覚2 -注意- 修文大学 准教授 佐々木 政司	我々の周囲には大量の情報があふれており、その結果感覚器から受け取られる感覚情報も膨大なものとなる。我々はその中から選択的に処理しており、この選択の機能を注意という。本講義ではこの注意について、デモを交えながら概観する。
	3回 10/23(水)	壮年期の食生活から考える -日本人はなぜ糖尿病になりやすいか- 修文大学 教授 福井 富穂	人は、自然界に存在する動植物を数々の体験のなかで食べ物として定着させてきた。それは飢餓との闘いであった。こうした生体機能が糖尿病などの生活習慣病を惹起させ、現代人にとっては健康を損ねる原因となっている。
	4回 10/30(水)	壮年期の食生活から考える -適正体重- 修文大学 教授 福井 富穂	現在、国民の体重は、男性の各年齢層で増加傾向にある。女性は50~60歳代で一気に増加している。他方、20~40歳代の女性は「やせ」が問題となっており、最近では20歳代の男性においてもダイエット志向が見受けられる。個人にとっての「適正体重」を考える。
後 期	1回 11/6(水)	スポーツを観戦しよう! 修文大学短期大学部 教授 加藤 渡	強いスポーツチームとはどんなチームなのでしょう? これまで、「チーム一丸」という言葉に表現されているように、個人よりもチームの方が重要であるとされてきました。しかし現在は、個性豊かな個人が、主体的に活動できることが求められています。
	2回 11/13(水)	かしこく食べて健康に -生活習慣病の予防・改善のヒント- 修文大学短期大学部 准教授 田中 秀吉	今、私たちの国は世界でも有数の長寿国ですが、誰しもが望むのは最期までいきいきと健康で自立した生活を営むことだと思います。そのためには、日頃からどういう食習慣に気をつけたらよいのか考えてみましょう。
	3回 11/20(水)	バロック・ロココの宮廷音楽 修文大学短期大学部 専任講師 三輪 雅美	「チェンバロ」は17、18世紀のヨーロッパ宮廷において、花形として活躍した鍵盤楽器です。その栄華を極めた歴史・文化的背景、楽器の構造や音楽のスタイルを通し、バロック鍵盤音楽の魅力を紹介します。 (レクチャーとチェンバロ演奏含む)
	4回 11/27(水)	フランス菓子の文化と楽しみ方 修文大学短期大学部 専任講師 鴨居由紀子	現在、日本で食されている多くの洋菓子のルーツはヨーロッパですが日本風にアレンジされている菓子も多く、本場とは様変わりしているものもあります。お菓子や食にまつわる話をフランスと日本の文化を交えながらいたします。

会場案内



駐車場案内

